議案第44号

朝来市プロポーザル審査委員会条例の一部を改正する条例制定について
朝来市プロポーザル審査委員会条例の一部を改正する条例を別紙のとおり定める。

令和6年5月30日提出

朝来市長 藤 岡 勇

提案理由要旨

地方自治法施行令等の一部を改正する政令（令和6年政令第12号）が令和6年4月1日から施行され、引用する条文が繰り上げられたことに伴い、所要の条例整備をしようとするものです。

朝来市条例第 号

朝来市プロポーザル審査委員会条例の一部を改正する条例

朝来市プロポーザル審査委員会条例（令和3年7月9日条例第18号）の一部を次のように改正する。

第1条第1項中「第21条の14第1項第2号」を「第21条の13第1項第2号」に改める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

議案第44号資料

朝来市プロポーザル審査委員会条例新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>(設置)</p> <p>第1条 本市が発注する委託、賃借、請負その他の契約の締結に当たり、その相手方となる者をプロポーザル方式（地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の2第1項第2号又は地方公営企業法施行令（昭和27年政令第403号）<u>第21条の14第1項第2号</u>の規定による随意契約の締結のため、公募又は指名の方法により複数の者から当該随意契約に係る業務の実施に関する企画又は技術に関する提案を求め、これらのうち提案内容及び業務遂行能力等が最も優れた者（以下「契約候補者」という。）を選定する方式をいう。）により選定する審査を厳正かつ公正に行うため、朝来市プロポーザル審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。</p>	<p>(設置)</p> <p>第1条 本市が発注する委託、賃借、請負その他の契約の締結に当たり、その相手方となる者をプロポーザル方式（地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の2第1項第2号又は地方公営企業法施行令（昭和27年政令第403号）<u>第21条の13第1項第2号</u>の規定による随意契約の締結のため、公募又は指名の方法により複数の者から当該随意契約に係る業務の実施に関する企画又は技術に関する提案を求め、これらのうち提案内容及び業務遂行能力等が最も優れた者（以下「契約候補者」という。）を選定する方式をいう。）により選定する審査を厳正かつ公正に行うため、朝来市プロポーザル審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。</p>